



12月例会 テーマ：傾聴

第30回スピーチコンテスト

おめでとうございます

日本語の部 優勝 小西 協子さん 題目：二人の母
英語の部 代表 柳田美奈子さん 題目：The way to go

スピーカーの皆様お疲れさまでした。

素晴らしいスピーチを發表され、日ごろの成果を十分發揮されたコンテストでありました。今期は「スピーチコンテストの規則と任務」に大きく2点の変更がありました。

1点目は論題に公平性をという点から全出場者に同じ3つの論題が与えられました。
2点目は審査員代理は審査員3名が揃えば審査に関与しないとなりました。



小西協子さん



永見和子さん



小川乃り子さん



柳田美奈子さん

審査の結果、上記のお二人が来る4月カウンスルNo.7第31回スピーチコンテストに出場されます。皆さん、応援しましょう。

記：会員/広報委員会 森 俊子



八村 恵美子 様



浜田 一恵 様



友田 登喜子 様

板井様はじめ審査員の皆様、長時間にわたり厳正なる審査をしていただき有り難うございました。そしてお役目ご苦労様でした。



プログラムリーダー
清水典子さん



タイマー (正) 原田かおるさん
(副) 島田順子さん

誕生日祝



♡お誕生日おめでとうございます♡

森 俊子さん (12/5)
小西 協子さん (12/18)

担当：清水「お二人に贈った言葉は
ほぼ当たっていましたね！」



今月のプレゼント

今月から例会後にアトリウムで直接受け取るようになりました♪



講演

「1%の可能性！」



板井文昭氏 ～BSS山陰放送アナウンサー～

ラジオという音だけの世界では、よく聞くこと・・・まさに「傾聴」の力が必要。まだ若くて力不足だった頃、「ふみあき」を「ぶんしょう」と音読みにして貫録を付けたという経緯がある。これからも日本人として音を大切にしていきたい。鳥取島根の人口は合わせて124万人・・・これは日本の総人口の約1%である。視聴率の1%未満は数字でなく※で表される、だから1%というのは何でもできる立派な数字なのである。この米子の地から大暴れして冒険してみよう！

要約：プログラム・教育委員長 藤瀬みか

今日の話題

—三保会長傾聴ボランティアさん！聴いて下さい！—

テーマは傾聴です。きょうは、傾聴ボランティアさんに相談にのって欲しい事、悩み事など日ごろのモヤモヤを思いっきり声に出して聴いていただきましょう！ゲストお二人と会員三人が参加して下さいました。

今日の話題リーダー 森 俊子

第30期予算・財務委員会

予算・財務委員会の任務は、まず期の初めにクラブの予算を立てます。期の半ばでは、予算を見直し必要があれば補正予算を提言する。また目標額を決め、バザーを開いて、できるだけ積立金を増やして次年度に引き継ぐ。今期は、3人で頑張っています。

仁科委員長 記



委員長：仁科 悦子 委員：森 俊子・島田 順子

的確なそして軽妙な語り口に、会場が爆笑!? おっしゃる通り、女性は生まれながらに無駄話が身につきますね・・・例会の最後に、最も楽しかった総評でした!



最後まで

12月担当

先導：三保聖諭子
 インスピレーション：島田順子
 プログラムリーダー：清水典子
 今日の話題：森俊子
 タイマー：原田かおる
 島田 順子
 総評：小酒萬喜子

バザーのお知らせ

1月例会では恒例のバザーが行われます。目標額を目指して協力しましょう。

編集後記

今月の誌面はいかがでしょうか？スピーチコンテスト、クリスマス月という事もあり、少しアソバせていただきました。会員/広報委員会のメンバーもお役があり、写真係りを鐘築直子委員が孤軍奮闘、頑張ってくれました。

記・森 俊子

